

黒川を中心とした まちづくり方針

令和2年9月

川西市

☆
～ 目 次 ～

《第Ⅰ章》まちづくり方針の策定について

1. 策定趣旨 1
2. 策定プロセス（検討フロー） 2

《第Ⅱ章》黒川を中心とした川西市北摂エリアの現況と課題

1. 黒川を中心とした川西市北摂エリアの概要 3
2. エリアの問題と課題 6

《第Ⅲ章》関連計画の整理

1. 上位関連計画と北部・北地域の取り組み方針 8

《第Ⅳ章》まちづくり方針

1. 概要 10
2. エリアゾーニング 13
3. 取組み案 16

黒川を中心としたまちづくり方針の構成

《第Ⅰ章》まちづくり方針の策定について

1. 策定趣旨
2. 策定プロセス（検討フロー）



《第Ⅱ章》黒川を中心とした 川西市北摂エリアの現況と課題

1. 黒川を中心とした川西市北摂エリアの概要
2. エリアの問題と課題

《第Ⅲ章》関連計画の整理

1. 上位関連計画と北部・北地域の取り組み方針



《第Ⅳ章》まちづくり方針

1. 概要
2. エリアゾーニング

《第 I 章》まちづくり方針の策定について

1. 策定趣旨

【社会的背景】 ○都市間競争・地域間競争の激化（経済のグローバル化）

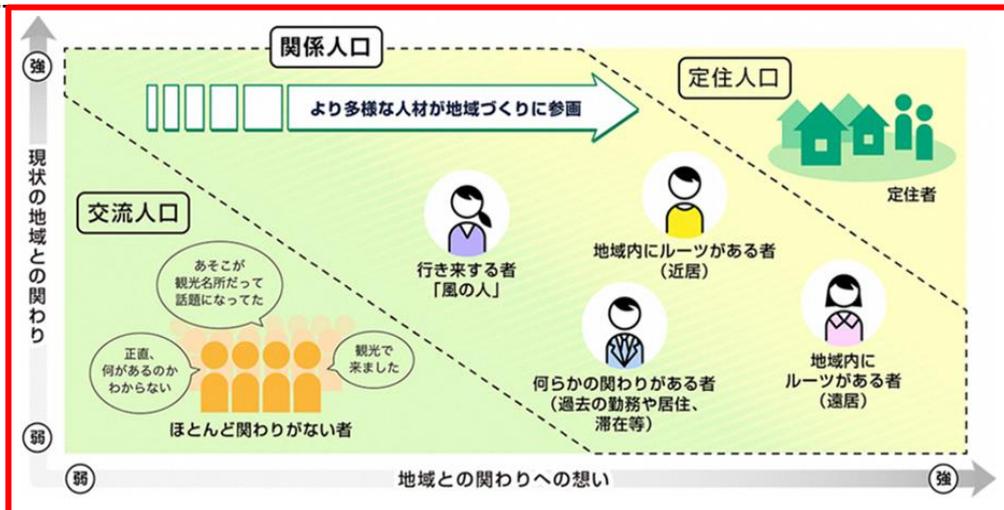
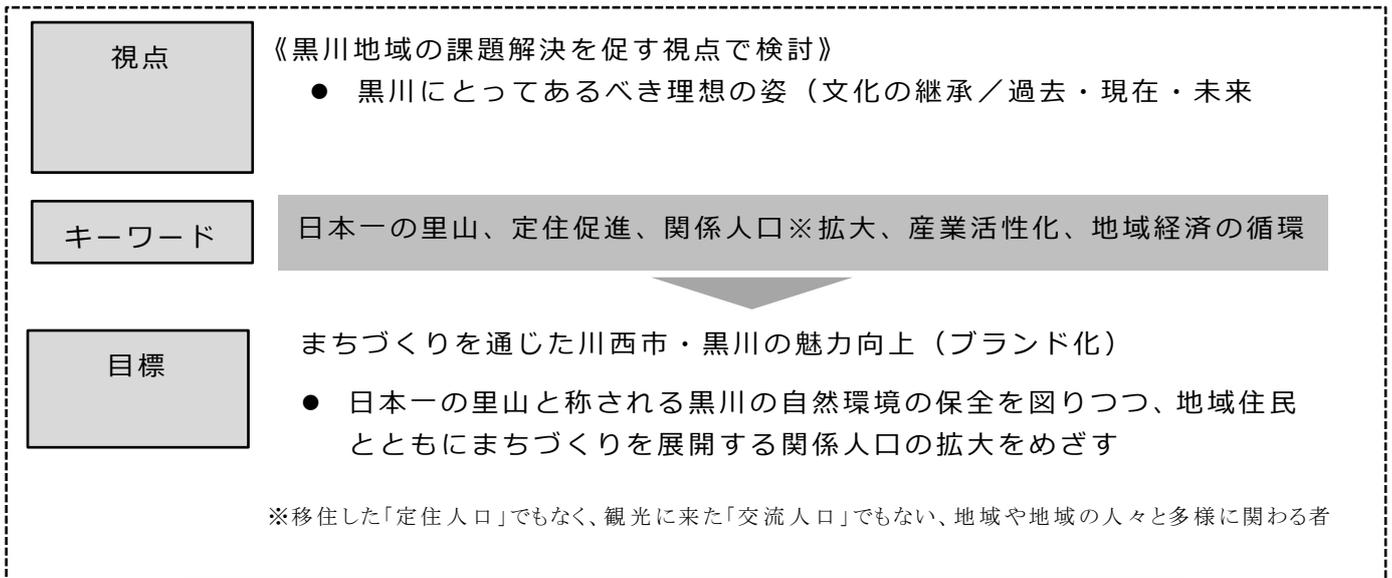
- 2020 年東京オリンピックを控えた、都市開発の進行～都心部を中心とした国家戦略特区制度・特性措置の整備
- 地方創生(まち・ひと・しごとの創生)～各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生

○人口減少社会・少子・高齢社会

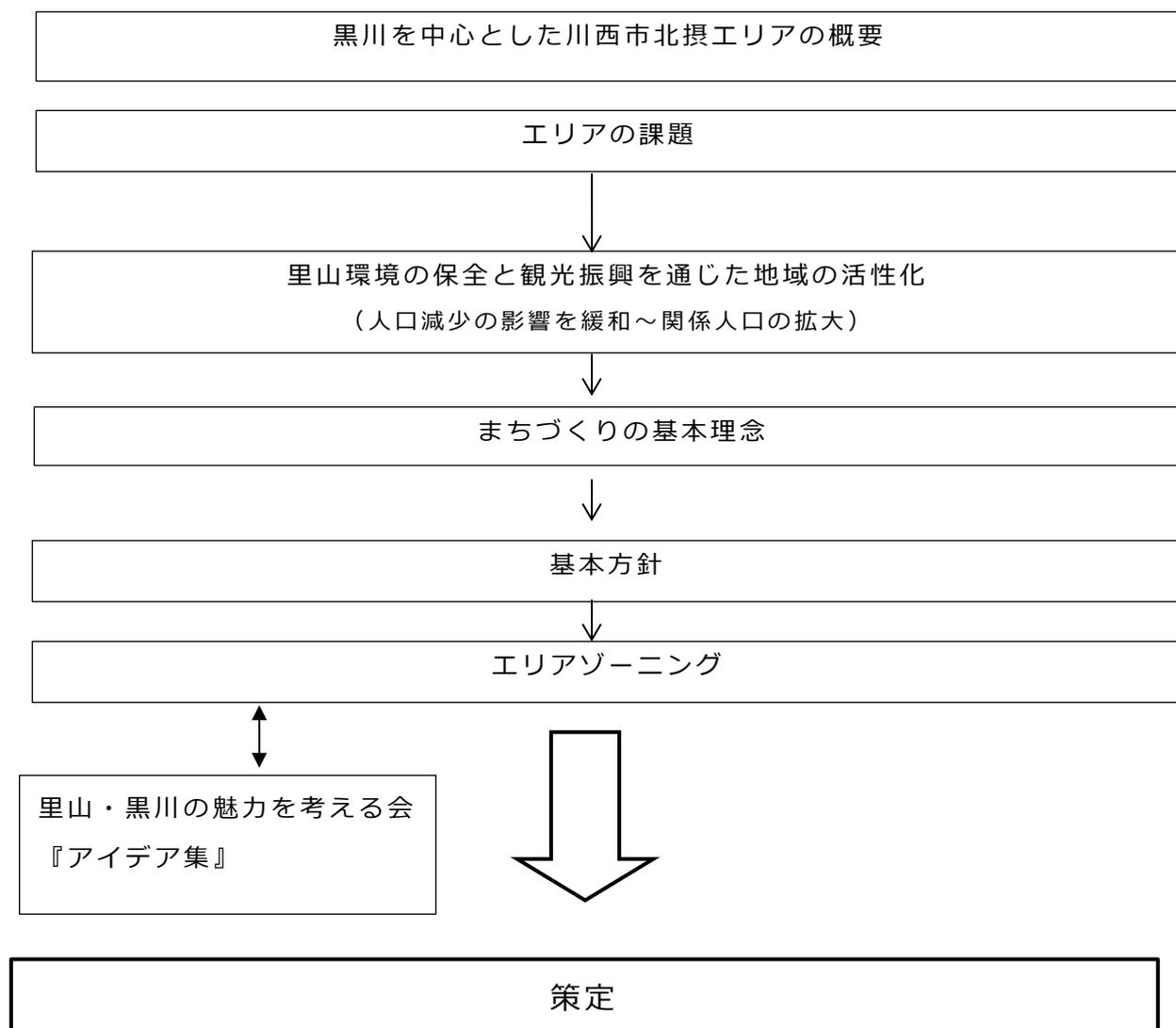
○市民ニーズの多様化

【黒川の背景】 ○川西市の都市イメージを代表する「自然」を象徴する地域

- 里山文化・人と自然が共存する貴重な地域で、今後、川西市の都市ブランディングを構築する上で欠かせない存在
- 一方で、限界集落の定義である 65 歳以上が半数を占めるという状況に近づきつつある。



2. 策定プロセス（検討フロー）



《第Ⅱ章》黒川を中心とした川西市北摂エリアの現況と課題

1.黒川を中心とした川西市北摂エリアの概要

①立地環境

《自然環境・資源》

- 「日本一の里山」と称され豊かな自然環境や景観を形成、更には維持されてきた里山文化が根付いている。また、黒川は「日本の里 100 選」にも選ばれている。(朝日新聞社／森林文化協会)
- 現役の炭焼きと台場クヌギ林、パッチワークの山、エドヒガン、ヤマザクラ、棚田、段々畑、農村風景など里山の条件が揃っている(北摂里山博物館)。
- 日本のダム湖百選に選ばれた知明湖が存在

(黒川地区が日本一の里山と称される理由)			
	【文化性】	全国的に貴重な今でも利用(一庫炭)されている里山である。	
	【景観性】	モザイク状の昔の里山景観が見られる。	
	【歴史性】	里山の営みについて、平安時代の文献に記録が残っている。	
	【生物多様性】	カブトムシやクワガタムシ、チョウなどが生息する。	
など多くの特徴を持っている。			

《交通環境》

- 豊かな自然環境を有するが、都心に近接し梅田から公共交通で1時間圏域に位置する。
- 新名神高速道路川西ICの設置(広域観光交流)
- 国道などの広域幹線ルートがエリア両サイドを縦断
(通過交通が少ない・来訪者の寄り道行動が期待できない⇔豊かな自然環境)

②人口・世帯

《人口》

- 令和2年4月1日時点の人口は97人で、年齢3区分別に見ると65歳以上の高齢者は59%となっている。

(単位：人)					(単位：%)			
地区名	15歳未満	15歳～64歳	65歳以上	合計	地区名	15歳未満	15歳～64歳	65歳以上
黒川	1	39	57	97	黒川	1%	40%	59%

《世帯数》

- 世帯数は令和2年(4月1日時点)49世帯で、近年、減少傾向にあったが、令和2年に微増している。

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2
黒川	61	59	56	56	53	52	51	51	48	49

《妙見の森ケーブル及びリフト》

- 能勢妙見堂のある妙見山への足であり、地域のシンボリックな存在であるケーブルカーは、観光鉄道的一种であり観光資源としてのポテンシャルを持つインフラ。
- 国内におけるケーブルカーは、主に「寺社参拝」「登山行楽」「観光施設へのアクセス」「生活交通」という役割を担う。

《昆虫採集》

- 台場クヌギが生育する川西市の里山にはクワガタムシやカブトムシをはじめとする多くの昆虫類が生息(生物多様性ふるさと川西戦略)。

《植生》

- エドヒガン、クヌギ群落

④-3 観光・地域活性化資源（ひと：活動：ボランティア）

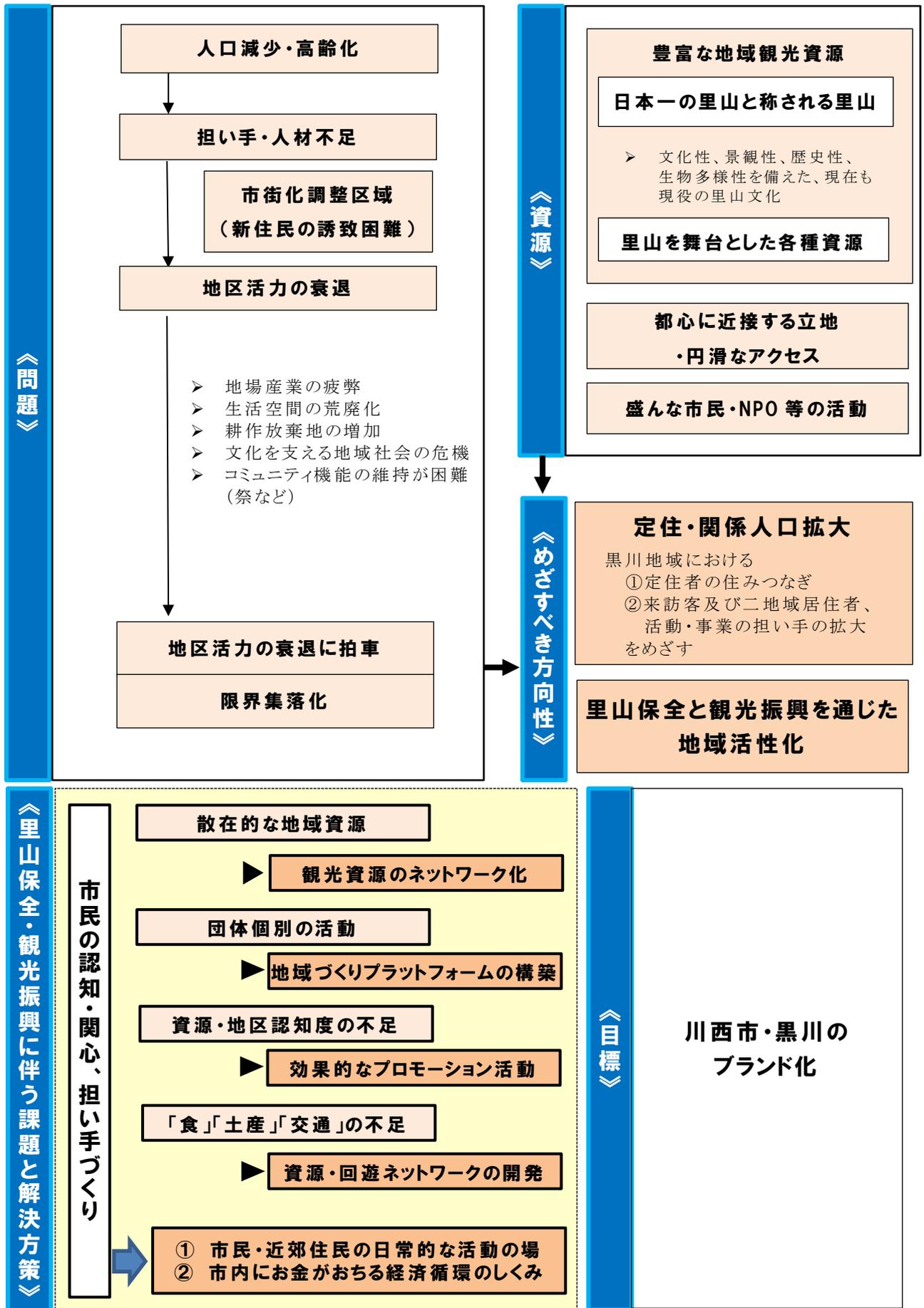
《市民ボランティア》

- 川西市では各地でボランティア団体などが環境保全に取り組んでおり、特に北部の日本一の里山や菊炭(一庫炭・池田炭)を守るための森林ボランティアの活動は活発。「菊炭友の会」、「川西里山クラブ」、「ひょうご森の倶楽部」など多くの団体が下刈り、間伐や炭焼きなどによる里山の維持管理の活動を行っている。

《事業者等》

- 一庫ダム:定期的な自然環境調査やダムに生息する特定外来生物のブラックバス、ブルーギルの対策を実施
- 一庫公園:ボランティアと協働で公園内のクヌギ林、エドヒガン、貴重植物などの現況調査や保全対策を実施
- 国崎クリーンセンター:稼動する以前から猪名川上流広域ごみ処理施設環境保全委員会を組織し、影響評価を行うとともに、エドヒガン、ヒメボタルなどの貴重な種や、シカ柵を設置しての里山環境の保全対策を推進。

2. エリアの問題と課題



課題	方策
<p>関係人口の拡大</p> <p>担い手、プレーヤーの発掘・育成</p>	<p>市民、近郊住民を対象にしたプログラム</p> <p>既存団体との連携</p> <p>のせでんアートラインなど既存事業との連携</p>
<p>散在的な地域資源</p> <ul style="list-style-type: none"> 里山を中心に、自然との共生を通じた資源などが点在するが、相互の関連性が少ない。 	<p>地域資源のネットワーク化</p> <ul style="list-style-type: none"> 資源は単独では発信力が弱い、地域資源のネットワーク化・パッケージとして発信力の強化を図る。
<p>まちづくり事業の継続性の確保</p>	<p>採算性の確保、市内事業者との連携</p> <p>市内経済循環の仕組みづくり</p>
<p>団体相互の連携</p> <ul style="list-style-type: none"> エリアには地元、企業、NPO、地方公共団体などが活動を行っているが、相互の連携が希薄のため、取り組み内容が見えにくい。 	<p>活動を包括する体制づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存団体との連携をより強固なものとする、新たな組織体制の確立 ワンストップ窓口機能の設置 収益モデルを構築し、活動の継続性を確保
<p>観光に不可欠な「食」「土産」「交通」「Wi-Fi環境」の不足</p> <ul style="list-style-type: none"> 妙見口駅周辺以外は、飲食店がない。移動手段はマイカー・徒歩のみ 	<p>「食」「土産」資源の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存施設での飲食販売 地元食材を使った「食」の開発 郷土料理の提供 <p>回遊ネットワークの形成</p> <ul style="list-style-type: none"> 自転車の活用（電動アシストレンタサイクル、コミュニティサイクル） 魅力あるハイキング・ウォーキング・サイクリングコースの開発
<p>資源・地区認知度の不足</p> <ul style="list-style-type: none"> 「日本一の里山」という最大のポテンシャルを有するも、認知度が低い。 	<p>効果的なプロモーション活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 効果的、かつ多様なプロモーション活動（ポータルサイトの活用・市民や利用者の口コミ）
<p>市民の認知・関心が不十分</p>	<p>市民が日常的に利用できる拠点づくり</p> <p>里山体験学習など既存事業の活用</p>

《第三章》関連計画の整理

1. 上位関連計画と北部・北地域の取り組み方針

計画名称	項目	内容
第5次川西市総合計画	都市デザイン・土地利用	<p>《地域別方針：北部・北地域》</p> <ul style="list-style-type: none"> 黒川地区の里山や集落地、知明湖（一庫ダム）など、豊かな自然と美しい景観に恵まれた地域。優れた自然環境と里山の保全・継承を進め、市民が集い、憩える場となる環境づくりをめざすものとされています。 <p>《都市構造：自然共生拠点》</p> <ul style="list-style-type: none"> 知明湖一帯を含めた県立一庫公園周辺を中心とする地区を「自然共生拠点」と位置づけ、周辺の妙見山、知明湖キャンプ場、黒川ダリヤ園など、水と緑に恵まれた美しい自然環境と触れ合える市民憩いの場をめざすものとされています。
都市計画マスタープラン 《北部・北地域の方針》	土地利用	<ul style="list-style-type: none"> 自然資源と観光資源が豊かな特性や、市街地に近い立地を活かし、里山再生を担う市民団体などと連携しながら、交流人口の拡大や自然環境の保全に努めます。 既存集落では、生活に関連する施設を充実させるなど、定住環境の維持に努めます。 「日本一の里山」と言われる黒川地域の里の暮らしを維持・継承するため、地域の実情を総合的に勘案したうえで、地域活性化に必要な施設が立地可能となる土地利用の誘導方法を検討します。
	交通	<ul style="list-style-type: none"> 集落内の生活道路については、地域の現状などを総合的に判断し、地域住民等と協力し合いながら、安全で快適な道路の整備に努めます。
	都市施設	<ul style="list-style-type: none"> 美しい自然に恵まれた県立一庫公園、知明湖周辺を自然共生拠点とし、多くの人でにぎわうキャンプ場やダリヤ園などの適正な運営管理に努めます。 県の北摂里山博物館構想に位置づけられた妙見山や黒川、県立一庫公園、それらをつなぐ北摂里山街道は、里山の魅力を保つ希少な空間として情報発信していきます。 国崎クリーンセンターは、環境学習・レクリエーションの機能も有する場として積極的に活用します。

川西市景観計画 《景観形成の方針》	景観	<ul style="list-style-type: none">• (自然景観)豊かな自然を感じることのできる山並みの景観を形成• (集落景観)集落と農地、里山が調和した景観を形成
----------------------	----	---

《上位関連計画に見る黒川地区をはじめとした北部・北地域の取り組みイメージ》

- (黒川) 自然環境の保全・継承
 - 地域活性化に必要な施設が立地可能となる土地利用の誘導
 - 北摂里山街道を通じた里山の情報発信
- (国崎) 集い・憩える空間「自然共生拠点」
 - 知明湖キャンプ場や黒川ダリヤ園などの適正な運営管理と活用方策の検討
 - 国崎クリーンセンターの環境学習・レクリエーション機能も活用

エリア設定⇒魅力発信

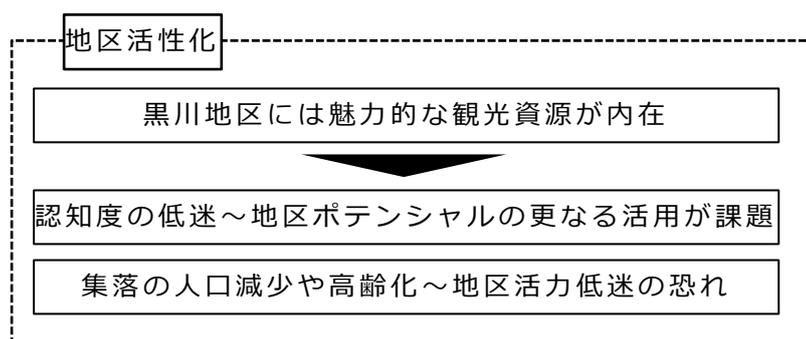
- 川西市の魅力を発信する地域としての魅力向上
(自然をテーマとしたシンボルエリア)
- ⇒効果的なプロモーション

《第Ⅳ章》まちづくり方針

1.概要

黒川地区は、日本一の里山と言われる豊かな自然環境をはじめ来訪を促す有用な資源が内在しているものの、市内外における認知度が得られておらず、同地区の持つ魅力・ポテンシャルが効果的に活用、発信ができていない。

そのため、地域住民と新たなまちづくりの担い手が連携し、行政がサポートしながら、地域課題の解決に努める。



【目的】里山保全と観光振興を通じた黒川地区の活性化

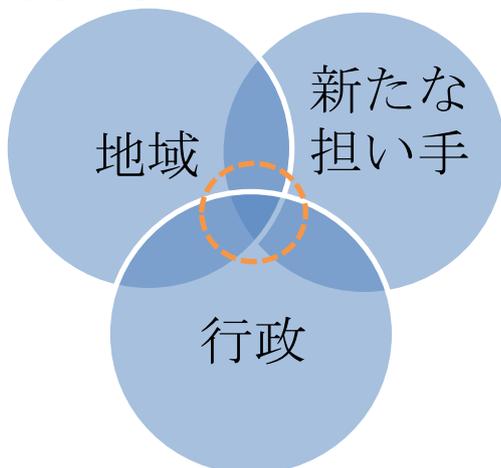
【目標】川西市・黒川のブランド化（関係人口の拡大・地域活力の向上）

- ・ 集落の人口減少や高齢化などにより、地域の生活文化をはじめとした魅力が衰退する恐れ
- ・ 一過性ではない観光～地域主体による持続可能な観光振興

【観光を中心とした黒川地区の活性化の視点】

- 里山ならではの観光プログラムを新たな担い手（市民、事業者、任意団体）主導で企画
- 地域の創意工夫や市民等が愛着を持つ里山観光プログラムのパッケージ化
- 自立に向けたビジネスモデルの構築

【進め方】



＜地域＞

⇒地域課題の当事者として、地域以外の担い手と連携しながら主体的に活動を行う。

＜新たな担い手＞

⇒市民、事業者、任意団体などの新たな担い手が自らの事業活動を通じて、黒川地域の活性化に寄与するよう補完・連携する。

＜行政＞

⇒地域と新たな担い手のマッチングやサポート、コーディネートを行う。

【基本的な考え方のイメージ1】

市民が“愛着”を持ち、市外住民が“訪れたくなる”まちづくり

1. 市民の“愛着”	
基本方針	市民みんなが、黒川を知る、体験する、愛着をもつ
キーワード	黒川住民との交流、体験、日常的な利用、子育て世代健康、福祉
展開方策	<p>市民の定期的な活動と交流を促進</p> <p>《展開イメージ》</p> <ul style="list-style-type: none"> • 育児等の子育て世代の活動拠点 • 次世代(子ども)を中心に家族で学ぶ里山プログラム • 人的交流～フェイス・トゥ・フェイスによる活動 • 農業従事者・林業従事者の育成
期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> • リピーター(近距離からの訪問)・活動の場として利用促進 • 農業、林業、商業などの担い手の発掘と育成 • 住民参加のまちづくりの機運向上

2. 市外住民が“訪れたくなる”まち	
基本方針	都市近郊の立地を生かした観光メニューの開発
キーワード	既存資源の活用、経済循環
展開方策	<p>知明湖キャンプ場と黒川ダリヤ園を観光拠点とした事業展開</p> <p>《展開イメージ》</p> <ul style="list-style-type: none"> • 年間を通じたレジャー・アクティビティ • 秋のダリヤをメインに四季の草花を楽しめる植物園 • 飲食サービスによる地産地消の提供 • みやげ物の販売 • 団体観光客の受け入れ • 家族で参加する野外活動プログラム • 循環型エコ事業の試行
期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> • 市内産業の振興 • 交流人口の増加

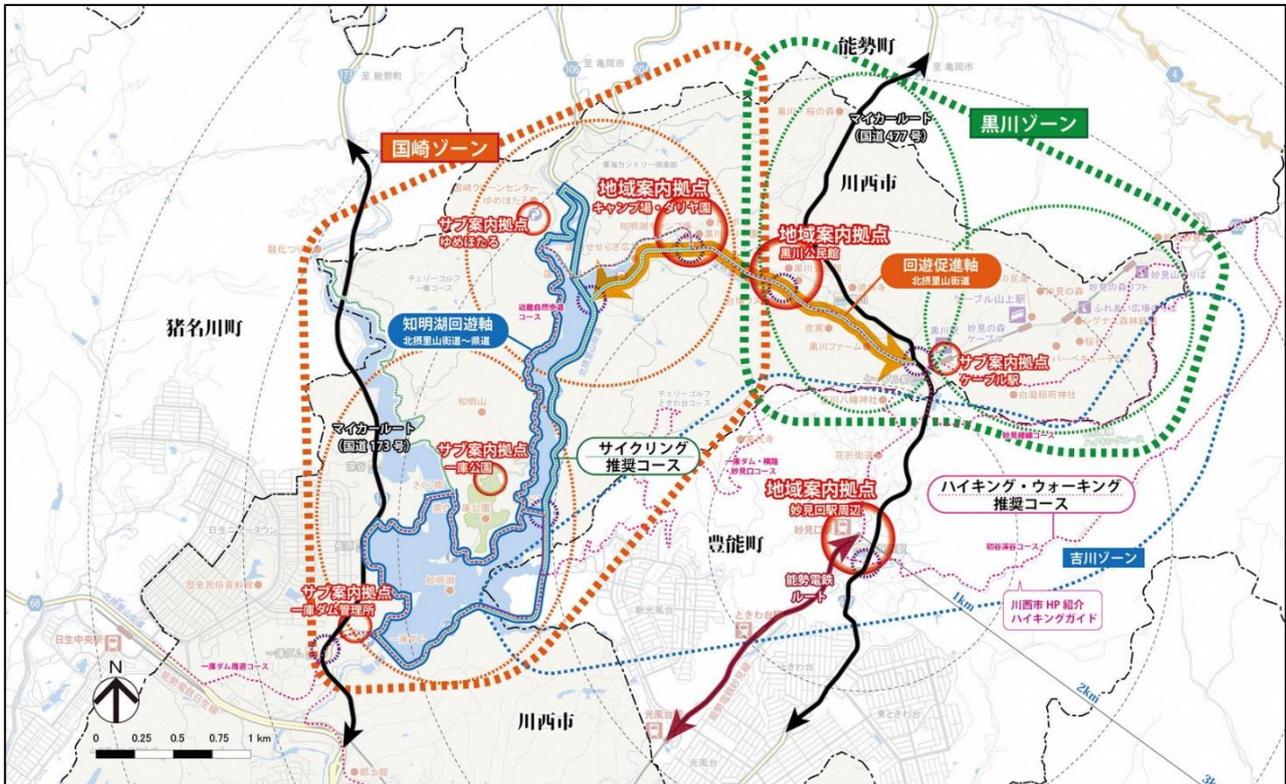
【基本的な考え方のイメージ2】

黒川と国崎・相互の特性を活かしたまちづくり

	黒川【活動・交流】	国崎【観光】										
基本方針	<p>市民の活動・交流拠点 里山保全（林業、農業の人材育成）</p> <ul style="list-style-type: none"> 多くの来訪者を誘客する、観光地化するという視点ではない 人とのふれあい・交流は、多様化する観光ニーズ、担い手づくりに重要な要素 (仮称)里山センターのコンセプト <p>例:「里山保全」「人材育成」「農業」「林業」「健康」「福祉」「子ども」「自然教育」「エコ」「地産地消」</p>	<p>施設・地域間の連携強化 観光、レジャー、アクティビティを提供</p> <p>レジャー・鑑賞を主としたグループ等、同伴者内での楽しみを目的として1日を本エリア内で時間を費やす利用者が多いと想定されるが、アクティビティの1つとしてエリア内施設や黒川の体験メニューを推奨するなど、また違った楽しみを伝えることで、リピーター獲得を図る。</p>										
展開方策	<p>市民の活動拠点 担い手の発掘、支援 地域住民・市民・来訪者の交流</p> <p>《展開イメージ》</p> <ul style="list-style-type: none"> 親子体験・育児・子育ての支援 子育て女性の活動 農業体験、林業体験 	<p>エリア観光のネットワークの構築</p> <p>《展開イメージ》</p> <p>一庫ダム、ゆめほたる、一庫公園、国崎せせらぎ広場、知明湖、知明湖キャンプ場、黒川ダリヤ園の観光メニューパッケージ化等</p>										
拠点	<p>役割と事業イメージ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">(仮称) 里山センター</div> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">市民活動・交流</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">里山保全</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客誘致 ・自然体験 ・交流事業 ・市民活動 </td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・農業人材育成 ・林業人材育成 ・バイオマス ・エコ・循環 </td> </tr> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">新瀧公民館</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">黒川ファーム</div> </div>	市民活動・交流	里山保全	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客誘致 ・自然体験 ・交流事業 ・市民活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業人材育成 ・林業人材育成 ・バイオマス ・エコ・循環 	<p>役割と事業イメージ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">知明湖キャンプ場・黒川ダリヤ園</div> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">キャンプ場</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">管理棟</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ダリヤ園</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・団体客受入れ ・アクティビティ ・レジャー ・野外活動 </td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・商品開発 ・みやげ販売 ・飲食営業 ・休憩 </td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・人材育成 ・体験、イベント ・四季植物育成 </td> </tr> </table> <div style="display: flex; justify-content: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">黒川駐車場</div> </div>	キャンプ場	管理棟	ダリヤ園	<ul style="list-style-type: none"> ・団体客受入れ ・アクティビティ ・レジャー ・野外活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・商品開発 ・みやげ販売 ・飲食営業 ・休憩 	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成 ・体験、イベント ・四季植物育成
市民活動・交流	里山保全											
<ul style="list-style-type: none"> ・観光客誘致 ・自然体験 ・交流事業 ・市民活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業人材育成 ・林業人材育成 ・バイオマス ・エコ・循環 											
キャンプ場	管理棟	ダリヤ園										
<ul style="list-style-type: none"> ・団体客受入れ ・アクティビティ ・レジャー ・野外活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・商品開発 ・みやげ販売 ・飲食営業 ・休憩 	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成 ・体験、イベント ・四季植物育成 										
ターゲット	<p>市民・近郊住民 農業、林業体験希望者</p>	<p>観光客 市民・近郊住民</p>										

2.エリアゾーニング

①拠点とネットワークイメージ



②ゾーンネットワーク

隣接する「国崎」「黒川」を1つのパッケージとしながら、それぞれの魅力を打ち出した観光スタイル

- 自然という共通したテーマを通じて、相互の回遊性向上
- 様々な魅力が凝縮したエリアとしてのプロモーション

《地域案内拠点（大拠点）の設定》

- 距離を有し、観光スタイルが異なる各ゾーンにおいて1つのパッケージとすること、相互のネットワーク性の確保することを目的として、ゾーン毎に地域案内拠点（大拠点）を設置（相互連携・機能分担）

	国 崎	黒 川
主な資源	知明湖、一庫ダム、一庫公園、国崎せせらぎ広場、知明湖キャンプ場、黒川ダリヤ園、国崎クリーンセンター(ゆめほたる)	黒川公民館、黒川ファーム、新瀧公民館 妙見山、桜の森、妙見の森ケーブル・リフト、炭窯、徳林寺
資源特性	知明湖を中心としたエリアで、空間スケールが大きい。駐車場が整備されている。	里山、昔ながらの公民館など「ふるさと」色が強い。
来訪者像（現在）	ファミリー、グループ、野外活動団体等	個人、シニア等
来訪者像（期待）	ウォーキング、サイクリング、ハイキング レジャー、アクティビティ	リピーター、子育て世代、市民活動、 個人事業者、農業
テーマ（売り）	自然、レジャー・アクティビティ、野外活動	里山、自然、ふるさと、体験、農業、林業、地産地消
観光スタイルの方向性	アクティビティ(活動的な観光)を中心とした不特定多数の一般観光客	里山、自然やふるさとをテーマとしたメニューを少人数で体験 市民・地域住民・来訪者の交流

地域案内拠点	黒川ダリヤ園 + 知明湖キャンプ場	(仮称)里山センター
地域案内拠点設定の考え方 (ポテンシャル)	<ul style="list-style-type: none"> ● オンシーズン時には、警備員を配するほどの来訪を有する。 ● 知名度が高い ● 一定台数の駐車場を確保(キャンプ場との連携) ● 国崎、黒川地区のほぼ中心に位置する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 旧黒川小学校の公民館は、地域のシンボリック的存在であるとともに、北棟は明治 37 年に竣工という歴史性があり観光資源・歴史遺産としてのポテンシャルを有する。

共通機能 ※規模は異なる	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報発信・案内機能 ● 休憩機能(休憩／飲食) ● 地区回遊促進機能(レンタサイクル等のポート等) ● 地区振興機能(特産品展示・販売ブース) 	
分担機能	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域活動の窓口機能(他団体や地域のガイド、体験などの調整・依頼) ● 交流機能(屋内／屋外イベント) ● 団体観光客の受け入れ(観光バス等は黒川駐車場を活用) ● マイカー来訪者の受け入れ ● 四季を通じた集客事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民、地域住民の活動 ● 市民、地域住民、来訪者の交流 ● 農業、林業の担い手育成 ● 地域活動の窓口機能(他団体や地域のガイド、体験などの調整・依頼) ● 里山ガイド、里山学習 ● 里山保全活動
ターゲット	<ul style="list-style-type: none"> ● 市内外、団体・グループ、ファミリー 	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民、近郊住民、小グループ、個人

③ゾーン内における軸（路線）の設定

	分類	機能・方向性
軸（路線）	回遊促進軸 北摂里山街道 (国崎大橋 ～妙見ケーブル区間)	<ul style="list-style-type: none"> ● エリア回遊を促す中心軸で、沿道に様々な地域資源が立地する ● 「飲食」「みやげ」「休憩所」など、地域に不足する観光機能の整備 ● 県道沿いにある「黒川ファーム」、「新滝自治会館」の活用
	知明湖回遊軸 知明湖周辺 (一庫ダム ～ゆめほたる ～一庫公園区間)	<ul style="list-style-type: none"> ● 知明湖を周回する回遊路線で、大スケールの空間を満喫することができる。 ● サイクリングやハイキングといったアクティビティを楽しむことのできる中心的な軸として位置づけ、その魅力好向上に必要となる機能を展開する。

(コース設定)	サイクリング推奨コース 知明湖・北摂里山街道を 中心としたコース	● 案内・誘導機能(サイン環境)、休憩 機能
	ハイキング推奨コース 市で設定しているコース	

3.取組み案

《その1》関係人口の増加〈担い手・プレイヤーの発掘・育成〉、組織づくり

- ① 市民の担い手
 - ・ 既存ボランティアの活動力の強化
 - ・ 新たな人材の発掘
- ② 外部の人材の活用
 - ・ 「よそもの・わかもの・ばかもの」の呼び込み
- ③ 活動を包括・推進する中間支援組織づくり
- ④ 既存団体との連携をより強固のものとする、新たな組織体制の確立
 - ・ 収益モデルを構築し、活動の継続性を確保

《その2》観光資源のネットワーク化

- ①観光資源のネットワーク化(観光商品となる場所や物、情報などのパッケージ化)
- ②地域案内拠点の設定(窓口機能・地域との人的ネットワーク・情報共有)
- ③体験型観光による回遊推進

《その3》不足する資源・メニューの開発/既存資源の磨き上げ

- ①既存施設での飲食販売
- ②地元食材を使った「食」の開発～郷土料理の提供
- ③健康(健幸)をテーマとしたコース、プログラムの開発

《その4》回遊(移動)ネットワークの形成

- ①自転車の活用(電動アシストレンタサイクル、コミュニティサイクル)
- ②魅力あるハイキング・ウォーキング・サイクリングコースの開発

《その5》効果的なプロモーション

- ①関係者と連携したプロモーション(春里・秋里 MAP など)
- ②SNS などの活用による市民や利用者の口コミ効果
- ③来訪者による発信促進(Wi-Fi 環境)
- ④発信協力体制の構築

⑤ステイケーションの推進

(有名観光地への旅行から、黒川の魅力を活かした近場での休暇の過ごし方の提案)

⑥「弱み」を売りにした情報発信

- 広域幹線から離れる ⇒空気がきれい
- 宿泊施設がない ⇒都心に近く日帰りでも地域を満喫)

《その6》市民・来訪者・地元住民の交流

①来訪者と地域の人々との交流を地域ぐるみ(地域及び産官学)の交流